

LESSON NOTES

Advanced Audio Blog S4 #19 Top 10 Japanese Songs: Usagi to Kame/The Tortoise and the Hare

CONTENTS

- 2 Kanji
- 2 Kana
- 4 Romanization
- 5 English
- 6 Vocabulary
- 6 Sample Sentences
- 7 Grammar

19

KANJI

1. うさぎとかめ
2. 「いくら能力が高くてでも怠けていれば、こつこつと努力した者に負けてしまう」という教訓の「うさぎとかめ」。この話を知らない日本人はいませんが、出典がイソップ童話だと聞くと驚くのではないのでしょうか。それくらい、日本の昔話として浸透している話です。
3. なぜこの話がここまで日本人に親しまれているかというと、物語の主題が「努力を尊ぶ」であり、日本人好みだからでしょう。
4. 以前、紹介した『蛍の光』という曲でも冒頭に歌われているのは「貧しかったが努力して立身出世を遂げた人物」のエピソードでしたね。「勤勉な日本人」は幼少期から作られるのかもしれませんが。
5. 話を戻しましょう。
6. もう一つの理由は、この話には旋律がついていて幼い頃からよく歌われる歌であるためだと思います。
7. テンポの良い二拍子の童謡『うさぎとかめ』を作曲したのは納所弁次郎（のうしょ べんじろう）。「ドレミソラド」という音を多用して作られた曲たちは、明るい印象で覚えやすいものばかり。
8. またイソップ童話を、起承転結という四段構成で歌詞にしたのが石原和三郎（いしはらわさぶろう）です。
9. 『うさぎとかめ』は1901（明治34）年に発表されましたが、歌詞も曲も色あせることなく子どもたちに愛されています。
10. この他にも物語にメロディがついている曲（『桃太郎』や『浦島太郎』、『金太郎』などが有名ですよ）は、歌いながら情景を想像しやすいので今後も歌い継がれていくことでしょう。

KANA

CONT'D OVER

1. うさぎとかめ
2. 「いくら のうりよく がたかくても なまけて いれば、こつこつと どりよくした ものにまけてしまう」という きょうくんの「うさぎとかめ」。このはなしを しらないにほんじんは いませんが、しゅってんが イソップ どうわだときく とおどろく のではないでしょうか。それくらい、にほんの むかしばなしとして しんとうしている はなしです。
3. なぜ このはなしが ここまで にほんじんに したしまれているか というと、ものがたりの しゅだいが「どりよくを たつとぶ」であり、にほんじんごのみだから でしょう。
4. いぜん、しょうかいした『ほたるのひかり』という きよくでも ぼうとうに うたわれているのは「まずしかったが どりよくして りっしんしゅっせをとげたじんぶつ」のエピソードでしたね。「きんべんなにほんじん」は ようしょうきから つくられるのか もしれません。
5. はなしを もどしましょう。
6. もうひとつの りゆうは、このはなしには せんりつがついていて おさないころから よくうたわれる うたであるためだと おもわれます。
7. テンポのよい にびょうしの どうよう『うさぎとかめ』を さつきよくしたのは のうしょべんじろう。「ドレミソラド」という おとを たようして つくられた きよくたちは、あかるい いんしょうで おぼえやすいものばかり。
8. また イソップ どうわを、きしょうてんけつという よんだんこうせいで かしにしたのが いしはらわさぶろうです。
9. 『うさぎとかめ』は せんきゅうひゃくいちねん（めいじさんじゅうよねん）には つびょう されましたが、かしも きよくも いろあせることなく こどもたちにあいされています。

CONT'D OVER

10. このほかにも ものがたりに メロディがついている きょく (『ももたろう』や『うらしまたろう』、『きんたろう』などがゆうめいですよ) は、うたいながら じょうけいを そうぞうしやすいので こんごも うたいつがれていくこと でしょう。

ROMANIZATION

1. Usagi to kame
2. "Ikura nōryoku ga takakute mo namakete ireba, kotsukotsu to doryoku shita mono ni makete shimau" to iu kyōkun no "usagi to kame". Kono hanashi o shiranai Nihonjin wa imasen ga, shutten ga Isoppu dōwa da to kiku to odoroku no de wa nai deshō ka. Sore kurai, Nihon no mukashibanashi to shite shintō shite iru hanashi desu.
3. Naze kono hanashi ga koko made Nihonjin ni shitashimarete iru ka to iu to, monogatari no shudai ga "doryoku o tōtobu" de ari, Nihonjin gonomi dakara deshō.
4. Izen, shōkai shita "hotaru no hikari" to iu kyōku demo bōtō ni utawarete iru no wa "mazushikatta ga doryoku shite risshinshusse o togeta jinbutsu" no episōdo deshita ne. "kinben na Nihonjin" wa yōshōki kara tsukurareru no kamo shiremasen.
5. Hanashi o modoshimashō.
6. Mō hitotsu no riyū wa, kono hanashi ni wa senritsu ga tsuite ite osanai koro kara yoku utawareru uta de aru tame da to omowaremasu.
7. Tenpo no yoi ni-byōshi no dōyō "usagi to kame" o sakkyoku shita no wa Nōsho Benjirō. "Do, re, mi, so, ra, do" to iu oto o tayō shite tsukurareta kyōkutachi wa, akarui inshō de oboeyasui mono bakari.
8. Mata Isoppu dōwa o, kishōtenketsu to iu yon-dan kōsei de kashi ni shita no ga Ishihara Wasaburō desu.
9. "Usagi to kame" wa sen kyū-hyaku ichi-nen(Meiji san-jū yo-nen) ni happyō saremashita ga, kashi mo kyōku mo iroaseru koto naku kodomotachi ni aisarete imasu.

CONT'D OVER

10. Kono hoka ni mo monogatari ni merodi ga tsuite iru kyoku("Momotarō" ya "Urashima Tarō", "Kintarō" nado ga yūmei desu yo) wa, utai nagara jōkei o sōzō shiyasui no de kongo mo utaitsugarete iku koto deshō.

ENGLISH

1. "Usagi to kame"
2. "No matter how great your abilities, if you're lazy, then you'll lose out to someone who keeps on making slow and steady effort." This is the moral lesson contained in "The Tortoise and the Hare." There is not a single Japanese person who doesn't know this story, but when they hear that its origin is in Aesop's "Fables," they might be surprised. That's how deeply this story is thought of as Japanese folklore.
3. If you were to ask why this story is so beloved by Japanese people, the answer could be that the theme of the story, the value of hard work, is to the Japanese taste.
4. If you recall, the beginning of the song I introduced to you previously, "The Glow of Fireflies," was about someone who started out poor but with hard work achieved worldly success. "Industrious Japanese" are perhaps created from early childhood.
5. Let's get back on topic.
6. You could say that another reason is that the tune that goes with this story is a song that is often sung from childhood.
7. "The Tortoise and the Hare," a double-time, upbeat children's song, was composed by Benjirō Nōsho. Songs that use the notes "do, re, mi, so, la, do" all leave a cheerful impression and are easy to remember. Following this, the person who set the Aesop story to lyrics with a four-part structure made up of introduction, development, turn, and conclusion was Wasaburō Ishihara.
8. "The Tortoise and the Hare" was released in 1901 ("Meiji" 34), but both the song lyrics and the tune have not faded but continue to be loved by children.

CONT'D OVER

9. As for other songs that consist of a story set to a melody... "Momotarō," "Urashima Tarō," "Kintarō," and so on are some famous ones. With these songs it's easy to imagine the scene as you sing them, so they will probably continue to be sung for a long time yet.

VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
教訓	きょうくん	kyōkun	teachings, lesson
出典	しゅってん	shutten	source, authority
主題	しゅだい	shudai	subject, theme
尊ぶ	とうとぶ or たっとぶ	tōtobu or tattobu	to value, to respect
起承転結	きしょうてんけつ	kishōtenketsu	the logical process of introduction, development, turn, and conclusion
色あせる	いろあせる	iro aseru	to lose color, to fade
旋律	せんりつ	senritsu	melody
浸透する	しんとうする	shintōsuru	to be wide spread;V3

SAMPLE SENTENCES

<p>今回の失敗で、教訓を得ることができた。 <i>Konkai no shippai de kyōkun o eru koto ga dekita.</i></p> <p>I was able to learn a lesson from this mistake.</p>	<p>論文の中では、出典を必ず明記してください。 <i>Ronbun no naka de wa, shutten o kanarazu meiki shite kudasai.</i></p> <p>You have to indicate the sources in your paper.</p>
<p>この作品の主題は友情だ。 <i>Kono sakuhin no shudai wa yūjō da.</i></p> <p>The theme of this work is friendship.</p>	<p>日本人は和を尊ぶ。 <i>Nihonjin wa wa o tōtobu.</i></p> <p>Japanese people value harmony.</p>

<p>この文章は、起承転結がしっかりしている。</p> <p><i>Kono bunshō wa kishōtenketsu ga shikkari shite iru.</i></p> <p>This passage has a clear introduction, development, turn, and conclusion.</p>	<p>10年前に買った緑のカーテンは色あせてしまった。</p> <p><i>Jū-nen mae ni katta midori no kāten wa iro asete shimatta.</i></p> <p>The green curtains I bought ten years ago faded.</p>
<p>美しい旋律が聞こえる。</p> <p><i>Utsukushii senritsu ga kikoeru.</i></p> <p>I hear a beautiful melody.</p>	<p>日本では韓国の音楽が浸透しつつある。</p> <p><i>Nihon de wa kankoku no ongaku gashintō shitsutsu aru.</i></p> <p>Korean music has been spreading throughout Japan.</p>

GRAMMAR

Natsuko: オーディオブログ第4シーズン第19課 「うさぎとかめ」

Yuichi: こんにちは ゆういちです

Natsuko: なつこです。今回取り上げる歌は？

Yuichi: ある物語を歌った歌です。タイトルは「うさぎとかめ」です。 **Natsuko:** では、早速ブログを聞いてみましょう。

Natsuko: うさぎとかめ って イソップ童話 だったんですね。出典までは知りませんでした。

Yuichi: はい、僕も実は知らなかったんですけども、やっぱり絵本とかを読んだときも日本の絵、みたいな感じがして

Natsuko: そうですよ、日本の昔話だと思っていました。

Yuichi: なつこさんは、この歌を歌ったことがありますか？

Natsuko: ありますね。小さい頃、幼稚園とかでもよく歌ったと思います。ゆういちさんはどうですか？

Yuichi: 僕もちゃんと歌詞を覚えるくらい知っていました。ブログにも書いてありますが、物語が歌になっている曲って結構ありますよね。子供の頃、「桃太郎」とか「浦島太郎」はよく聞きましたね。

Natsuko: そうですね。

Yuichi: ちゃんと歌詞もばっちり今でも覚えています。

Natsuko:子供の頃歌った歌ってそうですね。他には確か、「一寸法師」なんかも歌があったように思うんですけど、歌詞まではちょっと覚えてないですね。

Yuichi:僕も同じく。

Natsuko:じゃ、ここで、リスナーの方にこの「うさぎと亀」の歌詞をご紹介しますでしょうか。

Yuichi:そうですね。

Natsuko:もしもしかめよ、かめさんよ。

Yuichi:この、「もしもし」は人に話しかけているんですよね。電話で話しているわけではありませんが。今の日本語でいうなら「ねえねえ、亀さん、亀さん！」って感じですかね。

Natsuko:次のラインです。「世界のうちでお前ほど歩みののろいものはない。」

Yuichi:歩み・・・というのは「歩くこと」ですね。のろい・・・は遅いということです。ですから「世界中で、あなたほど歩くのが遅い人はいない。」という意味です。こののろい・・・という言葉はかなりひどい言葉ですよね。じゃ最後のラインはどうでしょうか。

Natsuko:「どうしてそんなにのろいのか」

Yuichi:どうしてそんなに、おそいんですか？

。。。はっきり言って、かなりバカにしていますね。

Natsuko:歌っているときはあまり気がつかないんですけど、こうやって一行一行きちんと読んでいくと、結構ひどい事いっているんですね。

Yuichi:かわいそうですね、亀さん。この歌が4番まであって、最後は「うさぎさん、さっきの自慢はどうしたの？」といって歌が終わるんですが、一般的には一番だけしか歌われていませんね。

Natsuko:そうですね。有名なのは一番だけだと思います。私も一番しか覚えていなくて、考えてみたら続きがあるはずなんですけど、そういえば続きは覚えていないな、という。

Yuichi:結局、一番だけってことは亀さんだけがのろいというだけで終わってしまいますから、かわいそうですね。

Natsuko:それじゃお話になりませんよね。

Yuichi:じゃ、いきなりですが、ここで、上級のリスナーの皆さんにクイズです。

Natsuko:本当にすごいいきなりなんですけど。

Yuichi:この物語の教訓はなんですか？

Natsuko:…いい質問ですが、ゆういちさん、その答えブログに書いてありましたよ。「いくら能力が高くても怠けていれば、こつこつと努力した者に負けてしまう」という教訓の「うさぎとかめ」って書いてありました。

Yuichi:あ…そうでした。じゃ、そのことを表す四字熟語はなんですか？

Natsuko:ああ、この教訓を四字熟語で言うなら何か？・・・ってことですか？

Yuichi:そうです。

Natsuko:え～なんだろう。

Yuichi:ヒントは、このうさぎは亀はおそいから・・・って油断したわけですよね。

Natsuko: あ、わかった。油断大敵？

Yuichi: そうです。さすが。油断大敵。四字熟語のレッスンの16番で説明してあります。「油断は失敗のもとだよ〜。」という意味ですね。

Natsuko: なるほど。つまりそれは、うさぎの立場に立った教訓ですね。

Yuichi: はい、その通りです。

Natsuko: とういことで、今回は童話が歌詞になっている「うさぎとかめ」という歌でした。

Yuichi: 皆さんの国には、童話が歌詞になっている歌はありますか？あれば教えてください。

Natsuko: それではまた。 Yuichi: さようなら。